

Pagemaster RIP 6500 パッチ適用手順書

(P8パッチは [6500UD200P8.exe] で、対応バージョンは、RIP V.2.00R00～R02です。)

* 注意事項

パッチは、RIP Application の「Version バージョン（改版）」毎に異なりますので適用前に必ず RIP のバージョンを確認する必要があります。

また、パッチによってはこれまで使用出来ていた機能が制限される場合がありますので、リリースノートで変更内容を確認しておいてください。

(パッチファイルの適用は、必要に応じて実施するようにお願いします。)

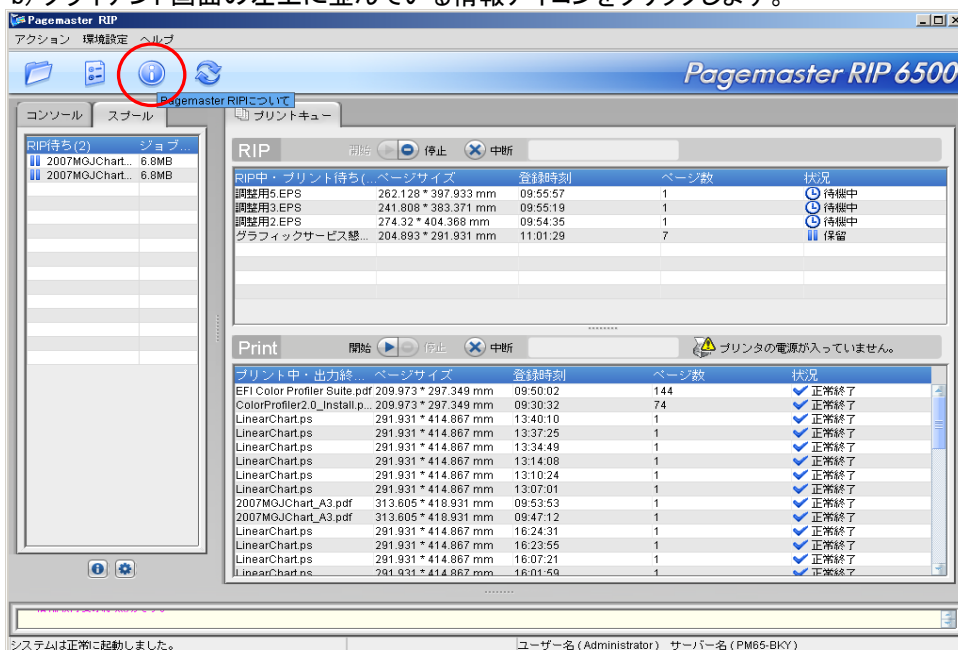
パッチ適用方法

1. 現在お使いのサーバー（RIP Application）のバージョンを確認します。

a) Pagemaster RIP が起動していなければ、起動してログインします。

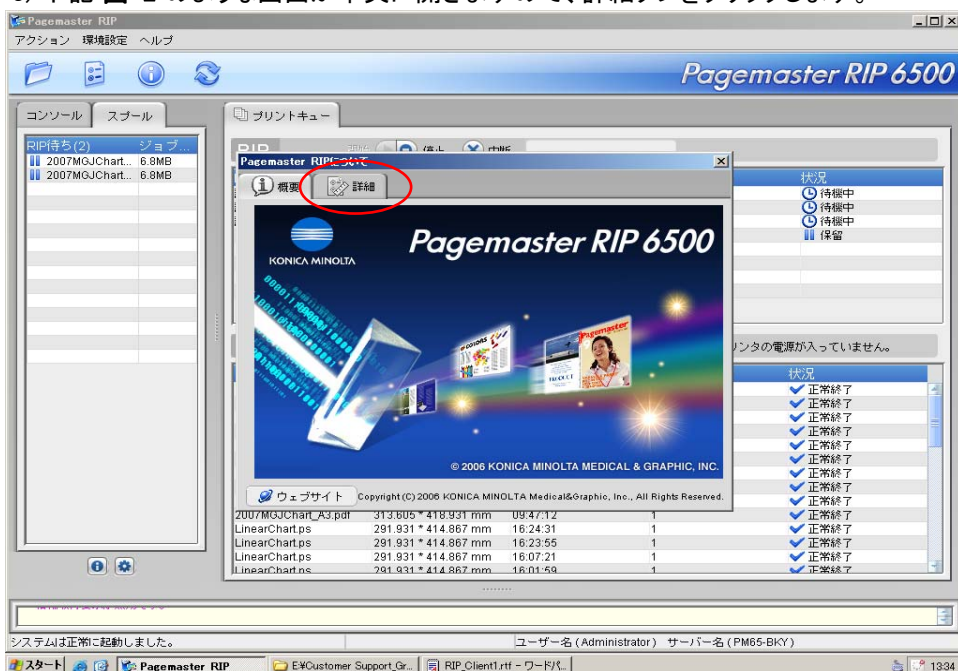
ログインするとクライアント画面が表示されます。下記 図-1 参照(スプール監視状態)

b) クライアント画面の左上に並んでいる情報アイコンをクリックします。



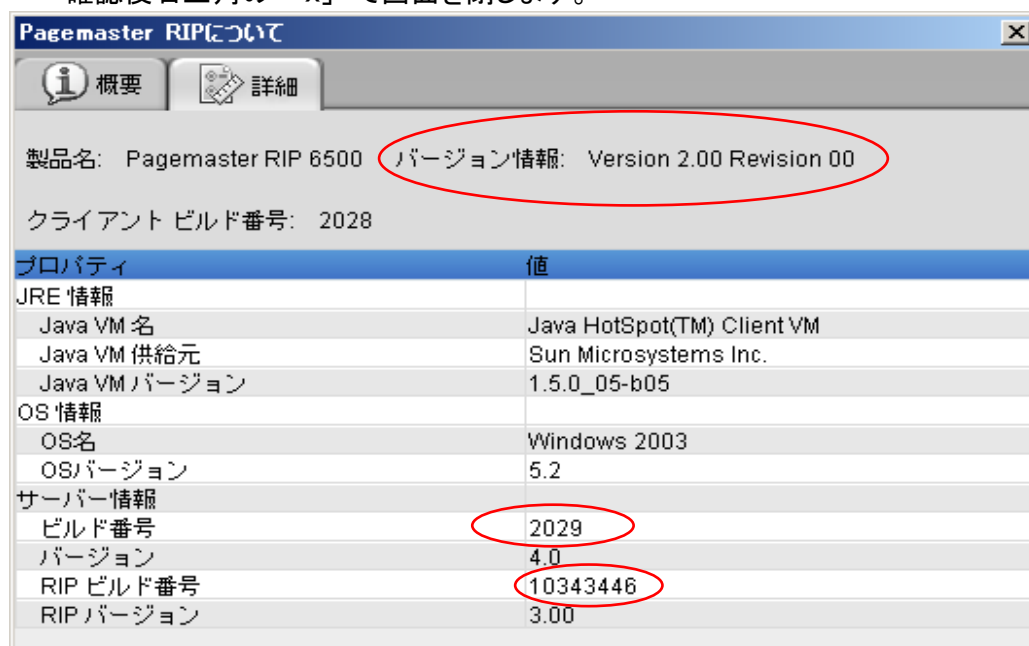
(図-1)

c) 下記 図-2 のような画面が中央に開きますので、詳細タブをクリックします。



(図-2)

- d) 下記 図-3 のような画面に変わります、バージョン情報、サーバー情報:ビルド番号を確認し記録します。
確認後右上の「x」で画面を閉じます。

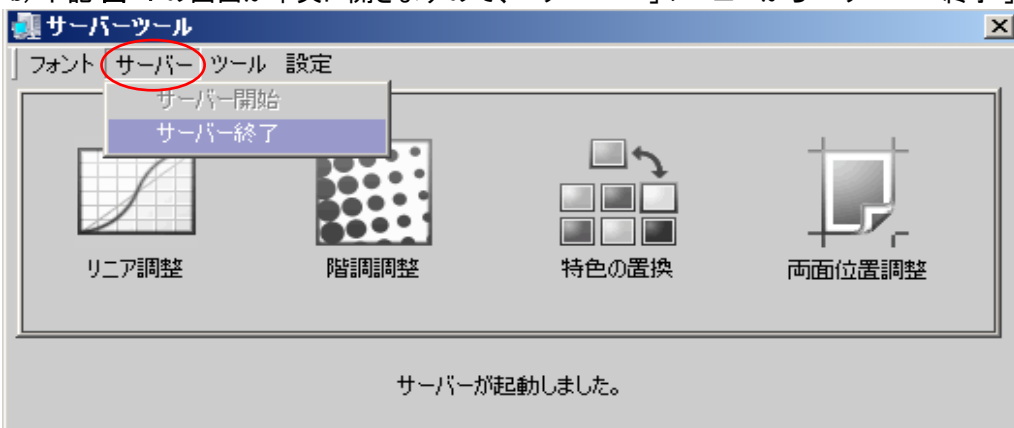


(図-3)

- e) Pagemaster RIP 6500 を終了します。

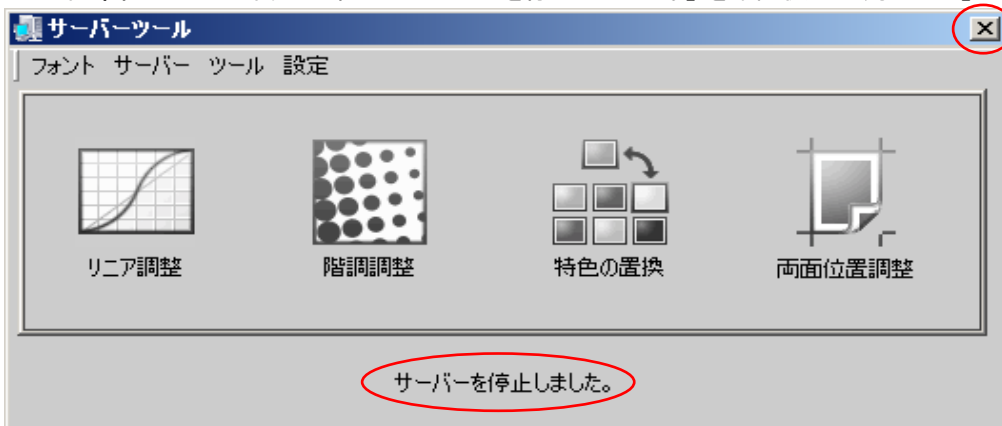
2. サーバーを終了します。

- a) サーバーツール画面が開いていなければ、デスクトップの「Server Tool」アイコンをダブルクリックします。
b) 下記 図-4 の画面が中央に開きますので、「サーバー」メニューから「サーバー終了」を選択します。



(図-4)

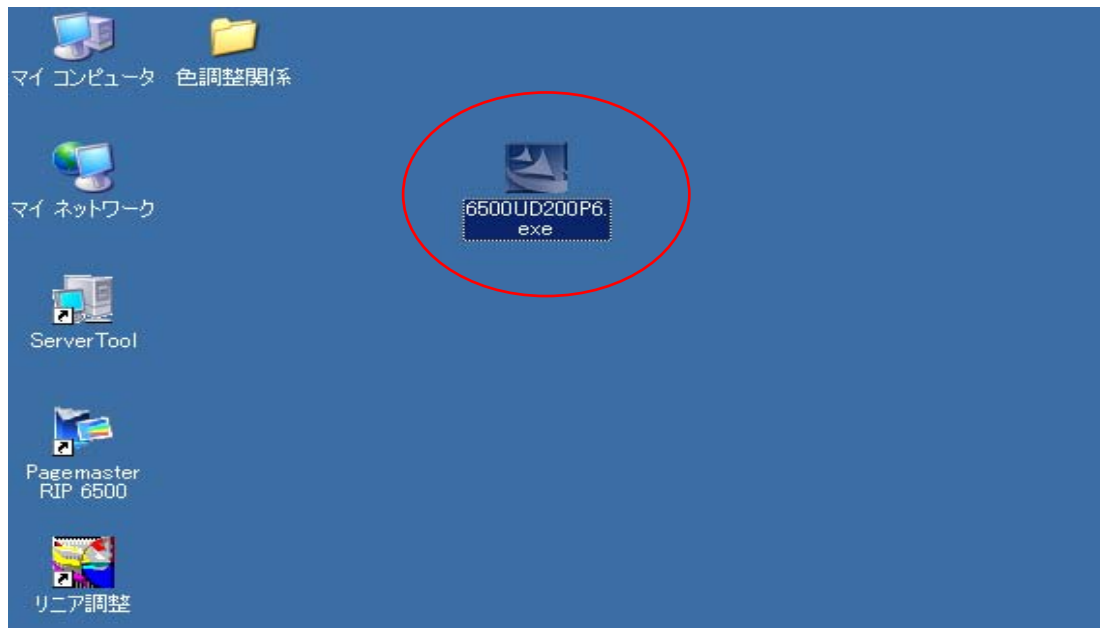
- c) 下記 図-5 の画面中央下部の「サーバーを停止しました。」を確認後右上の「x」で画面を閉じます。



(図-5)

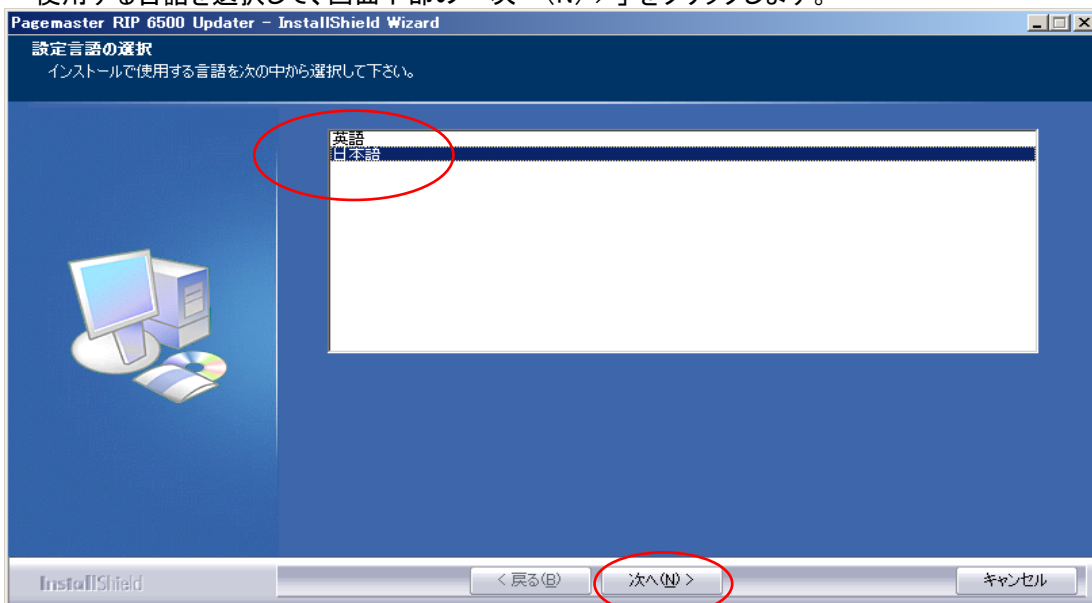
3. パッチファイル「6500UD***R**P*.exe」を実行します。

- a) ウェブページからダウンロードして保存したファイルをダブルクリックして実行します。
(例) 下記 図-6 画面は、デスクトップに保存したパッチ「P6」ファイルです。



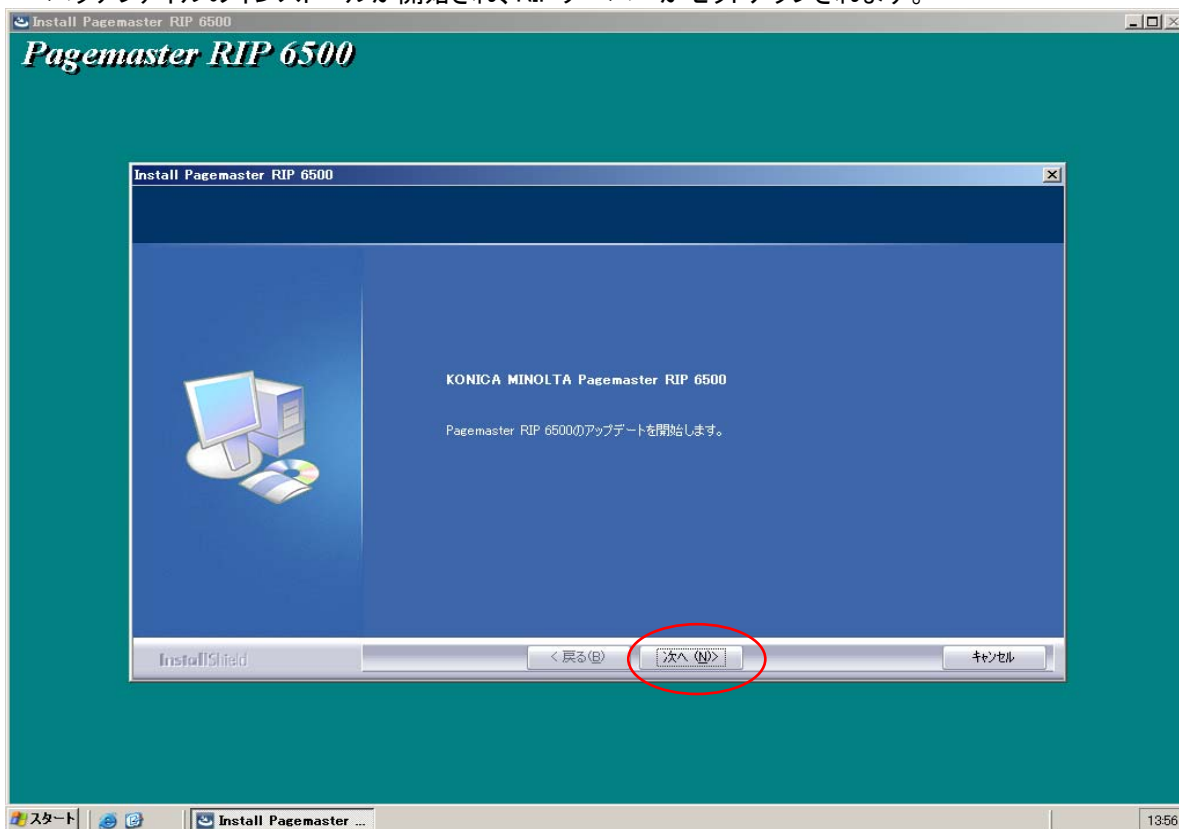
(図-6)

- b) パッチファイルをダブルクリックすると、下記 図-7 画面がモニター中央部立ち上がってきます。
使用する言語を選択して、画面下部の「次へ(N) >」をクリックします。



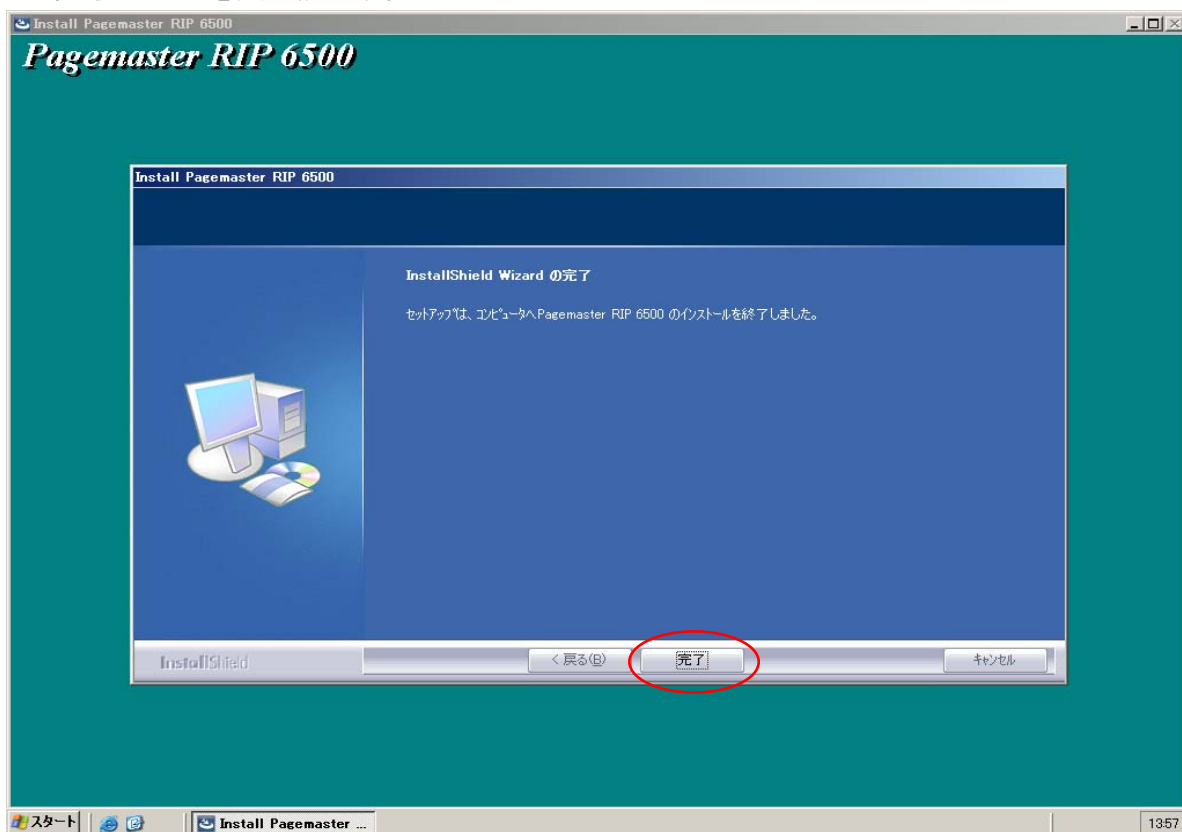
(図-7)

- c) 下記 図-8 画面に変わりますのでさらに「次へ(N) >」をクリックします。
パッチファイルのインストールが開始され、RIPサーバーがセットアップされます。



(図-8)

- d) セットアップが終了すると、下記 図-9 の画面に変わります「完了」をクリックしてインストールを終了します。
その後パソコンを再起動します。



(図-9)

※ パッチソフトによっては、Windows用クライアントソフトのインストールが必要になります。

4. リップパソコン再起動後、サーバー（RIP Application）のバージョンを確認します。

a) 前記の手順「1.」に従いバージョンを確認します。

バージョン情報やビルド番号が変化したことを確認します。

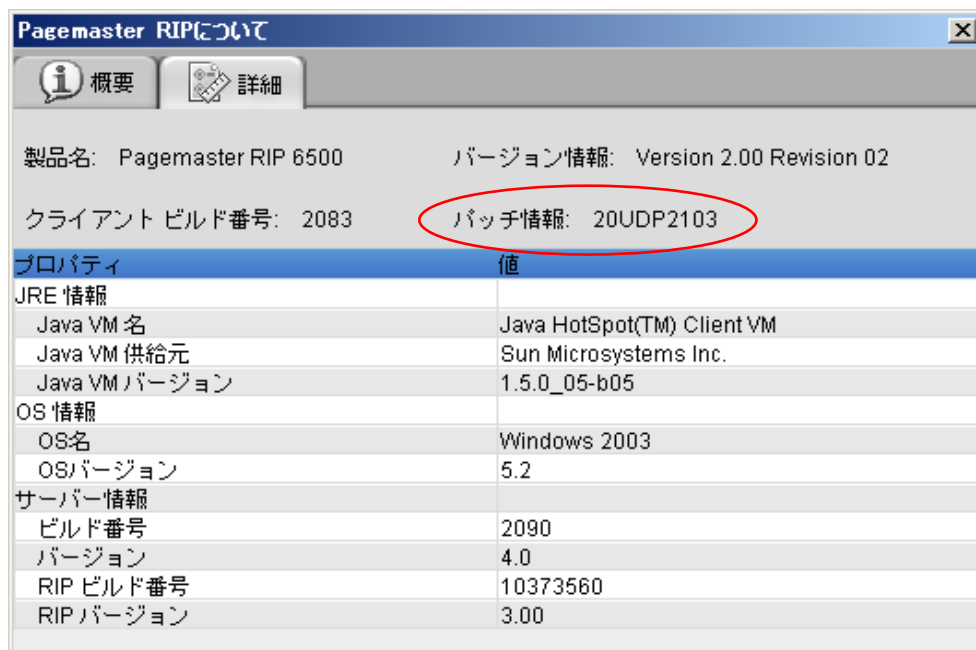
参考 下記 図-10 画面と前記の 図-3 の画面との数値を比較確認してください。



(図-10)

参考

右(図-11)
は、P8パッチ
適用後です。



(図-11)

※ P8パッチインストール時は、このソフトに対応したWindows用クライアントソフトのインストールが必須となります。

以上でパッチ適用作業は終了です。「Server Tool」からサーバー開始して引き続きご使用ください。